

**チェック** 次の問いに答えましょう。

① 次の計算を筆算でしましょう。

$\begin{array}{r} \text{ア} \\ 26 \overline{)832} \end{array}$	$\begin{array}{r} \text{イ} \\ 63 \overline{)691} \end{array}$
---	---

②  $5000 \div 250$  と答えが同じになるわり算をつくりましょう。 にあてはまる数をかき入れましょう。

ア  $50000 \div$

イ   $\div 1000$



**問題**

もうすぐ運動会です。たかしさん、なみさん、かおりさんの3人は、運動会のじゅんぴの係になりました。じゅんぴでつくるのは、1人80cmのはちまきと、ダンスで使う紙でつくった花です。4年生の48人分をじゅんぴします。

先生が、ぬのを4000cm、1ふくろが150まい入りの紙を5ふくろ用意しています。3人は、今ある、ぬのと紙がたりるかどうかにについて考えています。

1人分のざいりょう

<p>〔はちまき〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬの80cm</li> </ul>	<p>〔花〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙16まい (かた手が8まい)</li> <li>・わゴム2本</li> </ul>
---	---

(1) 48人分のはちまきをつくるのに、ぬの4000cmでたりかどうかを、それぞれの式で考えています。



$80 \times 48 = 3840$



$4000 \div 80 = 50$



$4000 \div 48 = 83 \text{ あたり } 16$

3人は、式をつくって計算し、ぬのはたりるとわかりました。上の3人の式は、それぞれ何を調べるための式ですか。次の①～③の中から1つずつえらんで、それぞれ番号をかきましよう。

- ① 今あるぬのから、はちまきを何本分とることができるか。

② 今あるぬのから、1人分が何cmとることができるか。

③ 全員分のはちまきをつくるのにひつような長さは何cmか。

たかし	
なみ	
かおり	



次に、花を作るための紙がたりかどうかについて考えます。さっき、ぼくはかけ算の式で考えたから、今度はわり算の式で考えてみるよ。

(2) たかしさんは、紙がたりるかたりないかを、なみさんかかおりさんのようにわり算の式で考えることにしました。なみさんとかかおりさんのどちらかすきな方の考え方をえらび、式や言葉を使ってせつめいをかきましよう。かきだしの文の ( ) のえらんだ方にOをつけ、かきだしにつづけてかきましよう。

紙は ( たりる ・ たりない ) とわかりました。そのわけを ( なみ ・ かおり ) さんの考え方をを使ってせつめいします。はじめに、先生が用意した紙のまい数を計算すると、